

AIは理工系分野のジェンダー格差を解消できるか

AIは今や人間に近づき超えようとしている。AIは人間社会のさまざまなデータを学習している。そのため、AIは人間社会の鏡であるともいわれる。例えば、差別や偏見、ジェンダーや人種のバイアスなど、社会のゆがみを反映してしまう。一方、日本の理工系分野のジェンダー格差は深刻で（工学部の女子学生比率は15%程度、高専でも24%弱）、これには日本社会の社会風土が影響しているとも言われる。AIとジェンダー格差の問題を、生成AIのグローバルな動向に精通しているエヌビディア合同会社の井崎氏と科学技術社会論を専門とする東京大学の横山教授にご講演いただき、一緒に考えてみたい。

日時 2023年12月21日（木）14:45～16:35

場所 北九州工業高等専門学校 2号館1階合同講義室

対象 本科3年生【オンライン配信有】

開会挨拶

北九州工業高等専門学校長

鶴見 智 氏

◆14:45～14:50

来賓挨拶

国立高等専門学校機構理事長
（日本工学アカデミー 顧問）

谷口 功 氏

◆14:50～15:05

講演（1）

「理系に女性はなぜ少ないのか？社会風土から見る課題」
東京大学 国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）
副機構長 横山 広美 氏

◆15:05～15:45

講演（2）

「生成AIで始まる大変革、これから社会に出て役立つ力」
NVIDIA 日本法人エンタープライズ事業本部
事業本部長 井崎 武士 氏

◆15:50～16:30

閉会挨拶

日本工学アカデミー九州支部長
（公益財団法人九州先端科学技術研究所 所長）

山田 淳 氏

◆16:30～16:35

主催：公益社団法人日本工学アカデミー九州支部

後援：独立行政法人国立高等専門学校機構

九州工学教育協会